

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公開番号】特開 2005-342819 (P2005-342819A)

【公開日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-049

【出願番号】特願 2004-163261 (P2004-163261)

【国際特許分類】

**B 2 5 C 7/00 (2006.01)**

**B 2 5 C 1/00 (2006.01)**

【F I】

B 2 5 C 7/00 Z

B 2 5 C 1/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 9 日 (2007.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

止具を被打込材に打ち込む釘打機であって、  
釘打機本体に設けられた銘板から突出する、突出部を設けたことを特徴とする釘打機。

【請求項 2】

止具を打ち込むドライバブレードを一体に取り付けたピストン及びピストンを摺動可能に支持するシリンダを含む出力部を備え、シリンダ内に圧縮空気を流入させてピストン、ドライバブレードを駆動して止具を打ち出す釘打機であって、

前記出力部を囲むボディー、ボディーの上面に取り付けられたエキゾーストカバー、ボディーの下端に取り付けられ、ドライバブレードを案内すると共に止具が打ち出されるノーズにより釘打機本体を構成し、少なくとも前記ボディーの外周に複数の突出部を設けたことを特徴とする釘打機。

【請求項 3】

前記ボディーを着色したことを特徴とする請求項 2 記載の釘打機。

【請求項 4】

前記エキゾーストカバーを覆うヘッドガードを設け、ヘッドガード上面に複数の突出部を設けたことを特徴とする請求項 3 記載の釘打機。

【請求項 5】

前記突出部の高さをボディー各部及びヘッドガードの摩耗限度に応じて変えたことを特徴とする請求項 2 又は 4 記載の釘打機。

【請求項 6】

ピストンを往復動させる駆動部を囲む筒形のボディーと、ボディーの背面から後方に延びるハンドル部と、ハンドル部下方に設けられ、止具を収納するマガジン部と、ボディー下方に設けられ、マガジン部から供給された止具がピストンにより打撃されて打ち込まれる際に止具を案内をするノーズと、ボディーの上方正面又は背面にボディーの左右側面から側方に突出する長さを有する突起を取り付けた釘打機であって、

前記ボディーの外周に前記突起より高さが低い複数の突出部を設けたことを特徴とする釘打機。